



元気の芽

家畜防疫

鳥インフルエンザ防疫農場演習を開催しました！！

渡り鳥の飛来が本格化し、鳥インフルエンザの発生リスクが高まるシーズンを前に、10月2日（金）、管内の養鶏場に御協力いただき、県・市町・建設業協会による家畜防疫農場演習を実施しました。

今回の防疫演習は、中部管内の大型養鶏場での発生を想定し、国の防疫指針で定める**24時間以内の殺処分、72時間以内の埋却の完了**を確実にできるよう、養鶏場内はもちろん、埋却候補地や動員者に関する事など、細かい部分まで検討を行いました。



養鶏場内

現地での防疫作業を指揮する家畜保健衛生所の職員が中心となり、殺処分と運び出しに関連する鶏舎の配置や構造、動線の確認、汚染・清浄ゾーンの線引きなどを検討しました。

備えあれば
憂いなし！



埋却地

飼養羽数に応じた埋却地面積の確保、草木等の繁茂の状況（伐根等の必要の有無）、道幅に応じて使用可能な運搬車の車両幅等を確認しました。また、運搬時に通過する国道での交通誘導の必要性も議論されました。



動員者への対応

事前の問診・検温を行う受付会場のレイアウトや、防護服の装着等を行う現地テントの設置場所、確保可能な面積に応じたテントの張り数などが検討されました。

特に、同時に行うべき**“動員者の新型コロナウイルス感染症の対策をどうするか”**についても議論され、従来の防疫作業以上に、感染症対策に配慮した対応が必要であることが指摘されました。



感染症対策も
しっかり！

今後、今回の防疫演習で抽出された課題を整理し、事前にその解決方法を議論することで、万が一発生した時の迅速な防疫体制の構築を図っていきます。

[農畜産課]

宮崎県では、家畜伝染病が発生した際の防疫マニュアルをホームページに公開しています。

万が一発生した時、迅速に対応できるよう、あらかじめ御確認をお願いします。

宮崎県 口蹄疫防疫マニュアル

検索

宮崎県 鳥フル防疫マニュアル

検索

宮崎中央子牛セリ市の入場者検温について

10月11日（日）から12日（月）にかけて、宮崎中央家畜市場にて子牛セリが開催されました。

子牛価格は、コロナ禍による需要減退の影響により、5月には昨年平均比24%安の607千円となりましたが、GoToキャンペーンや学校給食での提供による枝肉価格の持ち直しもあり、前回の8月セリよりも45千円高の平均価格732千円で売却されました。

また、8月以降、感染防止対策として、県・市町・NOSA・JAの連携のもと、入場口にて子牛セリ市入場者の検温を行い、発熱など体に不調がある方は入場を控えていただくようにしています。

今後も安心して来場できるセリ場づくりに関係機関一丸となって取り組んでいきます。

[農畜産課]

安心してご来場ください！



検温の様子

令和2年度 優良工事表彰「発注機関長賞」表彰式

県では、環境森林部・農政水産部・県土整備部が所管する建設工事について、工事成績が優秀であり、かつ他の工事の模範となる取組を行った工事を「優良工事」として表彰しています。

今年度は、令和元年度に完成した中部農林振興局及び宮崎土木事務所発注の175件の工事の中から、発注機関長賞として4件の工事が選ばれ、10月13日（火）に表彰式を開催しました。

受賞された方々には、日頃からの工事に対する意欲や向上心の高さに深く敬意を表します。今後も他の工事の模範として、一層の御活躍を期待しています。

[林務課]

- 中部農林振興局長賞：(株)西條組、春山建設工業(株)
- 宮崎土木事務所長賞：(株)西條組、宮崎造園(株)



表彰式の様子



大迫ため池（宮崎市南方）堤体及び底樋改修工事
施工：(株)西條組



法面工事（宮崎市高岡町浦之名相ヶ谷地区）
施工：春山建設工業（株）

令和2年度 宮崎地区土地改良協議会 土地改良功労者 表彰式

中部農林振興局管内には、農業を行うために必要な農業用水や排水路、農道などの管理を行う**土地改良区**が**39組織**あります。宮崎地区土地改良協議会では、長年にわたり土地改良区の運営や土地改良事業の推進、普及に尽力された個人や団体に対して表彰を行っています。

今年度は新型コロナウイルスの影響により延期されていましたが、去る11月4日（水）にホテルメリージュにおいて、万全な感染予防対策のもと表彰式が開催されました。

今回表彰された方々には、今後、益々の御活躍をお祈りします。

[農村計画課]

(以下敬称略)

宮崎地区土地改良協議会会長表彰

- (1) 田野町北地区土地改良区 理事長 甲斐新一郎
- (2) 黒田土地改良区 理事長 佐藤秋吉
- (3) 南田土地改良区 理事長、佐土原町土地改良区 理事 郡司武光
- (4) 高岡町土地改良区 理事 西園文一
- (5) 江田山崎土地改良区 理事 中原勇二
- (6) 江田山崎土地改良区 総括監事 近藤邦浩
- (7) 宮崎市生目土地改良区 理事 宮田英希
- (8) 村角土地改良区 監事 佐藤安幸
- (9) 花ヶ島土地改良区 理事 末政輝弘
- (10) 花ヶ島土地改良区 理事 山内一豊
- (11) 花ヶ島土地改良区 理事 押川 巧
- (12) 花ヶ島土地改良区 理事 日高順一
- (13) 宮崎市北土地改良区 総括監事 赤井信隆
- (14) 東禅寺・鈴町土地改良区 総括監事 木村 勉
- (15) 綾町土地改良区 副理事長 陶国正紀
- (16) 綾町土地改良区 総括監事 黒木幸明



宮崎県知事表彰(団体)

高岡町土地改良区

宮崎県土地改良事業団体連合会会長表彰

- (1) 高岡町土地改良区 理事 西村國義
- (2) 大淀川左岸土地改良区 監事 萩田孝一
- (3) 黒田土地改良区 監事 佐藤次男
- (4) 江田山崎土地改良区 監事 近藤國幸

全国土地改良事業団体連合会会長表彰(団体・銅章)

大淀川右岸土地改良区



表彰式の様子



スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）一斉駆除

9月3日（木）、ジャンボタニシ集団防除モデル地区である青水地区の水田で昨年に引き続き一斉防除作業が行われました。

地区の水田所有者及び宮崎市役所、JA等の関係機関協力のもと、青水地区の水田全域13haに湛水し、粒状石灰窒素の一斉散布を行いました。

作業はトラクターに装着したライムソア3台を使って行われました。天候に恵まれ作業はスムーズに進み、5時間弱で終了することができました。

防除前の調査では昨年と比較しジャンボタニシの密度は大きく低下しており、継続的な取り組みの効果を期待しています。



[農業経営課]

ジャンボタニシ

食用目的で日本に導入された外来種ですが、野生化したものが水稻などに食害を与えることから防除対象になっています。



成虫

日本のタニシより全体的に小さい

鮮やかなピンクの卵が特徴



ジャンボタニシの卵



石灰窒素散布状況

難防除病害虫対策としての地域一斉除草の実施

昨年の施設園芸作物（特にきゅうり）においては、害虫が媒介するウイルス病が多発し、大きな被害をもたらしました。そこで、中部農業改良普及センターでは、関係機関と連携して新たな対策として「地域ぐるみでの一斉除草」に取り組んでいます。

9月10日（木）、モデル地区である上木原地区では、きゅうり生産者が中心となって、あらかじめマッピングした重点除草ポイントを中心に除草剤の散布や草刈りが行われました。上木原地区での取り組みは、一斉除草の呼びかけや当日の役割分担など、生産者が主導して行っており、自主的な運営が行われています。

中部農業改良普及センターでは、引き続き一斉除草の支援を行うとともに、除草前後の害虫発生調査を行い、除草効果を検証していく予定です。



除草の様子

[農業経営課]

ひなたGAP 本庄高等学校が中部地区高等学校初の認定



9月18日（金）、**県立本庄高等学校**でひなたGAP認定書交付式を行いました。
県内では**3件目**、中部管内では**初の高等学校での認証**となります。

認証品目は**スイートコーン**。富高啓順校長や生徒代表の3人が認定書を受け取られました。

生徒からは、「安全性や衛生面などに責任を持って取り組んだ。今後も安心安全な農業生産に取り組んでいきたい。」と抱負を頂きました。

[農畜産課、農業経営課]



認定書を受け取った生徒達



地元選出県議会議員と中部地方連絡協議会との意見交換会の開催

11月10日（火）、**宮崎・東諸県選出の県議会議員**と**中部地方連絡協議会**（中部地域の出先機関で構成）の所属長との意見交換会を開催しました。

まず、各所属の課題と取組の中から、次の4つのテーマについて説明し、各議員から熱心な質問がありました。

中央保健所
宮崎県税・総務事務所
県動物愛護センター
総合農業試験場

新型コロナウイルス感染症対策について
新型コロナウイルス感染症に係る県税の徴収猶予の特例について
動物愛護の普及啓発と取組について
本県主力品目キュウリ・ピーマンの産地強化について

その後、福祉や教育など多岐にわたる行政分野について、各議員から御質問・御意見をいただき、有意義な意見交換を行うことができました。

今後も、各出先機関が互いに連携しながら、地域の課題解決に取り組んでいきます。

[総務課]



意見交換会の様子

みそ作り体験教室 を行いました！

10月17日（土）、食と農を考える県民会議中部支部活動として、木花公民館で小学生を対象にみそ作り体験教室を行いました。講師は、食育ティーチャーの河野穂子さんです。

飛鳥時代に中国から伝えられたといわれるみそ。
作り方は至ってシンプルです！



- 1 蒸した大豆を潰して麴、塩などを混ぜます。
- 2 団子状に丸めて空気を抜きます。
- 3 保存容器にうつして2～4か月程度熟成させます。
(期間は季節・好み等で変わります)

今回作ったみそは1～2月ごろ完成予定です。こどもたちも完成が待ち遠しいようでした。

[地域農政企画課]



名前の由来・・・古代中国の大豆塩蔵食品の**醬**（しょう・ひしお）

醬になる前のものがとても美味しかったので、
醬になる前のもの→未醬（みしょう）→みそ
と変化したと考えられます。

みその原料である大豆は、良質なタンパク質を多く含み、「畑の肉」と呼ばれています。
みそは炭水化物、ビタミン、カリウム、マグネシウムなど沢山の栄養素が含まれる優れた食品です。
みそ汁などで毎日みそを摂取するよう心がけたいものですね。

宮崎特攻基地慰霊碑と 掩体壕（えんたいごう）

今年度は新型コロナウイルスの影響で、修学旅行の行き先を県外から県内にする学校が増えており、平和学習として、特攻基地慰霊碑と掩体壕に注目が集まっています。

宮崎には昔、特攻隊の基地がありました。
宮崎空港そばには宮崎特攻基地慰霊碑があり、宮崎から飛び立った方や宮崎県出身の方が祀られています。

また、空港そばには「掩体壕」という、敵の攻撃から守るために作られた戦闘機の格納庫があります。

現存するのは小型機用3基、大型機用4基。このうち2基は国が所有し、県が管理を行っています。

掩体壕は当時の様子を示す貴重な財産ですが、老朽化も激しく、今後どのように残していくかが課題となっています。

[地域農政企画課]



自作農財産として県が管理する掩体壕



宮崎特攻基地慰霊碑



慰霊碑前には看板も

宮崎駅構内の宮崎市観光案内所が県産スギ材を使いリニューアル

宮崎駅構内の宮崎市観光案内所が、内装材に県産材を使用して移転リニューアルしました。

県内外の来所者に対して、県内の観光地を案内するとともに、県産材の魅力をPRしています。

隣接するシアトルズベストコーヒーも同様に内装材に県産材を使用し、一体的に暖かみのある空間となっています。

新店舗には県産材1.7立方メートルが使用されており、その木材の費用等に対し、県の『みやざき材で創る「新しい生活様式」空間づくり支援事業』補助金が活用されました。

県産材の良さを体感できる県内観光地の窓口として、多くの観光客が訪れることが期待されます。

[林務課]



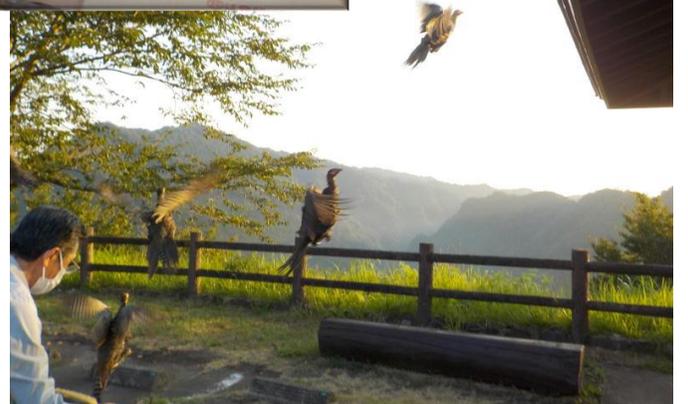
キジの放鳥を行いました！

昔話などでおなじみの「キジ」は、昭和22年に日本鳥学会により国鳥として選定されています。

今ではあまりなじみがないかもしれませんが、「キジも鳴かずば撃たれまい」「頭隠して尻隠さず」「けんもほろろ」など、キジが元になった言葉は数多くあり、また、1万円札の裏にもいる意外と身近な鳥です。（豆知識：福沢諭吉の1万円札の裏は、鳳凰とキジの2種類あります。）

現在は、キジの増殖と県民の自然保護に対する意識向上を目的として、キジの幼鳥を鳥獣保護区等に放鳥しています。管内では、宮崎市内の5箇所、国富町の1箇所、綾町の1箇所合計140羽を放鳥しました。

今後大きく成長して、里山近くで姿を見たり鳴き声を聞く機会が増えて欲しいと願っています。 [林務課]



おしゃべりはホドホドに…

キジも鳴かずば撃たれまい

余計なことを言ったばかりに災難にあってしまうこと

ぼれてますよー

頭隠して尻隠さず

悪事や欠点などの一部を隠して、全部を隠したつもりでいること

けんもほろろ

人の頼みや相談を、そっけなく拒絶するさま

「けん」も「ほろろ」もキジの鳴き声。（「ほろろ」は羽音でも）

ありがとう！を伝えたい。

11月22日は「いい夫婦の日」です。
御両親、パートナー、子ども達、
あなたの大切な人への感謝の気持ちを
みやぎきの花に添えて贈ってみませんか？



ガーベラ：(ピンク)感謝、(白)希望



バラ：(赤)可憐、(白)感謝、(黄)優美

ハイビスカス：常に新しい美、勇敢



赤いハイビスカスのように、
宮崎に新しい元気が
やってきますように



胡蝶蘭：幸福が飛んでくる



10才の誕生日に、**ダリア**の花束をもらいました。むらさきとピンクがまざったような色の花で、とてもきれいです。
 今年は、新型コロナウイルスの影響で、花を贈ったりする機会が減り、友達とパーティーをすることはなかったけれど、もらった花からお祝いしてくれる気持ちが伝わってきました。
 とてもうれしかったです。



ダリア：(赤)愛情 (白)尊敬



スパニッシュモス：不屈



けいとう：おしゃれ



かすみ草：感謝



国文祭・芸文祭おもてなしプロジェクト

手話でみやざきを紹介しましょう



令和3年7月3日(土)から10月17日(日)にわたり開催される「**国文祭・芸文祭みやざき2020**」を盛り上げることを目的として、中部地方連絡協議会では「**おもてなしプロジェクト**」を実施しています。

その一環として、「**元気の芽**」では、宮崎県に関する手話を紹介していきます。

ぜひ覚えていただき、来県者との手話による会話に挑戦してください！

宮崎牛がおすすめです



宮

神社の屋根をイメージし、交互に指を組む



崎

指先を合わせて、△の頂点を作る



牛

人差し指を曲げて、牛の角を作る



おすすめ

サムズアップで「人」。反対の手で人を押す



県

↓「宮崎」と組み合わせて…

宮崎県

手のひらを合わせた後ずらす

お疲れさまでした

肩たたきのように、片方の腕をトントン



里山の風景になじむ **多年草植栽** ～みんなで作る綾町花壇プロジェクト～

綾町では、令和元年11月から「**みんなで作る綾町花壇プロジェクト**」として、**多年草の植栽**を始めています。多年草の植栽は、自然豊かな里山の風景になじみ、季節の移ろいに合わせてドラマチックに変化することに加え、花壇の管理にかかる労力などの負担が軽減できるというメリットがあります。全国で多年草に関する講演や植栽指導を行っているガーデナーの平工詠子さん（横浜市）の指導の下、町民ボランティアグループと町シルバー人材センターが中心となって取り組んでいます。

現在、植栽を進めているのは「**綾ナチュラルガーデン錦原**」および「**同尾堂**」の2カ所。球根・苗の植え込みは地元の小学生や町内外のガーデニング愛好家などが参加して行っています。また、町在来種や町産の**ランキユラス**などを活用し、**ユネスコエコパーク**にふさわしい風景づくりに挑戦しているところです。

今年の春、錦原エリアには魔法がかけられたような色とりどりの美しい風景が生まれ、多くの方が花壇に足を運んでくださいました。地域の皆さんの憩いの場・交流の場となる空間づくりを目指し、令和5年度までに町内6カ所の主要な花壇で同プロジェクトを展開していく計画です。

[綾町建設課]



春



夏

新規採用職員を紹介します



中部農林振興局には、今年度、1名の新規採用職員が配属されました。入庁して早8か月。これまでの県庁生活や今後の目標について聞いてみました。

担当業務を教えてください

ため池改修工事を実施する加藍尾上・下池地区の地質調査委託業務、測量設計委託業務、北今泉地区の舗装改修工、区画線工の発注や監督、農業集落排水事業に関する市町の指導等を行っています。

県庁生活はいかがですか？

入庁してからコロナウイルスの影響で同期のメンバーとも会えないような状況が続きましたが、最近では少しずつですが研修等で顔を合わせる機会も増えてきました。これからも同期とのつながりを大切に、県庁生活を送っていきたいです。

今後の目標を教えてください

業務に取り組む際、何をすることも分からないことばかりで、多くの時間を要しているのが現状です。

来年度以降は今年度とは違い、業務量も増えてくると思いますので、まずは今年度の残りの4か月、今後の業務にも生かせるように頑張っていきたいです。



農村整備課
前畑弘樹 技師



休日は映画を見たり、運動をしたり、一日中のんびりしたりと、その日の気分によっていろいろなことをしています。
まだまだ分からないことばかりですが、1つ1つ成長していきたいと思っています。
これからもよろしくお願いします。